

プロの音楽活動家と共演で地域文化水準の向上

笠岡音楽祭実行委員会

活動の目的

地域住民（アマチュア）による音楽活動をプロの音楽活動とリンクさせ、同じ舞台上上がることにより地域住民、アマチュア音楽活動家の音楽における質の向上と音楽文化の普及、音楽による住民の交流による地域文化水準の向上を目指し、文化活動が活発となり交流人口の拡大による地域の活性化を見込む。

活動の内容及び経過

2017年8月5日に笠岡市保健センター（ギャラクシーホール）にて音楽祭を開催。市内外から4団体、プロ音楽家7チームの都合11組の出演者による音楽イベントとなった。アマチュア活動家による合唱、楽器による演奏、ポップダンスの披露などを行った。当日は出演者を含め、ホール内に200名の出演者及び観客がつどい、プロ、アマの共演に惜しみない拍手が送られた。ステージのエンディングでは出演者が出揃い、合唱する様は印象深く感じられた。

活動の成果・効果

プロ、アマ出演者含め多数の音楽活動家が情報交換することにより、日頃のそれぞれの音楽活動内容のチェック、確認またはモチベーションにつながる刺激が醸成された。特にアマチュア活動家がプロの音楽家と接することはこの上ない刺激となり、レベルアップへ繋がるヒントなどを得る絶好の機会となった。また、ステージを離れての活動では、来年に向けてそれぞれの活動における課題の確認が出来た。

発表の場の提供である笠岡音楽祭のブランド化が参加者のモチベーションの向上となり、音楽家の養成や知名度アップなどへ繋がりたい。

今後の課題と問題点

音楽祭開催の周知期間が短かったため、日程的にも余裕がなく、十分なアナウンスがなされない、広報啓蒙活動の準備不足が生じた。日程的にも余裕がなく、準備不足で開催されたため、当日に初めて打ち合わせするなど、出演者同士のコミュニケーションも十分ではなく、お互いの活動内容への相互理解が出来ていない中での共演であった。多少のぎこちなさも感じられた半面、初めてということもあり、新鮮さも演出された。

今後、継続して実施するにあたり、地元の実行委員会が主体となり、企画運営出来るノウハウを備える必要がある。地域の個性、特性を生かした内容は地域住民から発案されるべきであり、アイデアをよく落とし込んだ個性的なユニークな内容が望まれる。県内各所で同じような内容で開催



される地域音楽祭で、笠岡地域ならではの音楽祭の在り方も問われよう。また、始まったばかりの、知られていない音楽祭であり、資金的な面も窮屈であるので、広報啓蒙活動をいかに充実させるか、協賛や補助のかたちで運営資金をいかに調達するか、が最大の課題である。実力者の招聘には多額の予算が必要であるが、市民の芸術活動、音楽活動に理解を示していただける活動家との出会いもポイントかと思う。

- 代表者：山本聰 ●所在地：笠岡市真鍋島
- TEL：0865-60-0135
- E-MAIL：s-yamamoto@iza-manabeshima.jp
- 設立年：2017年 ●メンバー数：8名